

氷川町ふれあいネットワーク



# 社協だより

令和5年9月1日

第108号

—発行—  
社会福祉法人  
氷川町社会福祉協議会



今月の表紙 7月29日（土）、納涼祭流し踊りに参加した社協職員一同！

## 第108号の主な内容（目次）

- p 1…表紙
- p 2…自立相談支援機関窓口のご案内  
生活支援員養成講座開催のお知らせ
- p 3…福祉体験学習・職場体験
- p 4…いきいきサロンボランティア養成講座受講者募集  
おれんじカフェ開催のお知らせ
- p 5…社協会費・寄付のお知らせ  
善意のご紹介
- p 6…ひとり暮らし高齢者交流会参加募集  
令和5年度共同募金のお願い



この社協だよりは、共同募金の配分を受けて発行しました。



# 生活の中で不安なこと・困りごとはありませんか？

ひとりで抱え込まずに、あなたの生活の不安や心配をご相談ください。  
相談員と一緒に相談内容を考え、解決に向けたお手伝いをします。一人ひとりの  
状況に合わせ、専門の機関等と連携して支援を行います。相談は無料です。

## 【仕事のこと】

- ・ 仕事に就きたいが、ずっと働いていないので自信がない
- ・ 仕事探しについて相談したい ・ 就職したいが、仕事が見つからない

## 【住まいのこと】

- ・ 家賃が払えず、家を出なければならない

## 【生活費のこと】

- ・ 借金や公共料金の滞納がある
- ・ 家計のやりくりがうまくできず、生活費が足りない

## 【家族のこと】

- ・ 家に引きこもっている家族がいる
- ・ 子どもの学習や勉強のことが心配

## 【コロナ特例貸付の償還(返済)のこと】

- ・ 返済期間が来ている(来る)が、収入減少やその他様々な事情により返済が困難



**まずは、電話でご相談ください。☎0965-52-5075**

総合相談窓口・自立相談支援機関：氷川町社会福祉協議会 竜北事業所

受付日・時間：月曜日から金曜日【年末年始除く】午前8時30分～午後5時30分

## 地域福祉権利擁護事業 生活支援員養成講座開催のお知らせ

氷川町では、認知症や知的障がい、精神障がいなどが理由で、日常的な金銭の管理や書類の管理、福祉サービスの利用などをひとりですることが心配な人や困っている人を対象に、地域福祉権利擁護事業を行っています。

この事業の対象者となる利用者が、安心して暮らせるようサポートしていただく生活支援員の養成を目的に開催いたします。

### (活動内容)

- ・ 利用者宅へ生活費をお届けします。必要に応じて請求先への支払いを代行します。
- ・ 利用者の生活様子を伺い、役所やその他機関から届く書類内容について説明助言します。
- ・ 専門員と相談しながら上記業務に対応し、利用者の生活をサポートしていただきます。

日 時： 令和5年 9月23日 (土)

午前10時00分～午後3時00分(休憩1時間)

場 所： 竜北福祉センター1階 研修室

申込方法： ①申込書での申し込み(竜北福祉センターもしくは宮原福祉センターに設置してある申込書に記入して提出下さい)  
②直接お電話にてお申し込みください。

締切日時： 令和5年 9月15日 (金)

お問い合わせ先： 氷川町社会福祉協議会 竜北事業所 ☎0965-52-5075

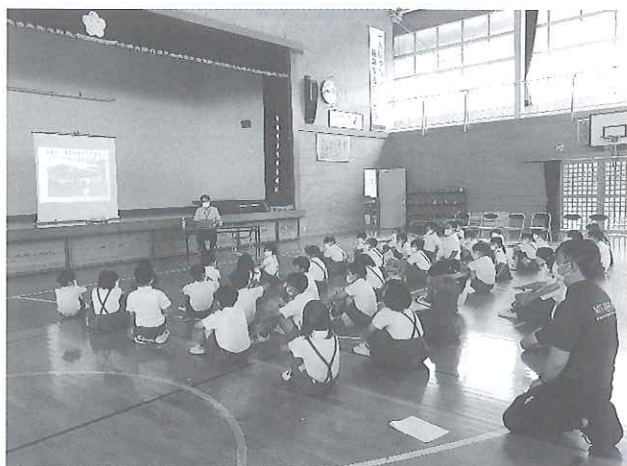


## 福祉体験学習(車いす体験)

6月16日(金)、宮原小学校で、4年生を対象に車いす体験学習を行いました。「見たことはあるけど、触るのは初めて」の子ども達でしたが、正しい操作方法を説明した後は、「車いすに乗る人」「車いすを押す人」と役割を交代しながら実際に車いす体験を行いました。

泥道や砂利道に見立てたマット上での車いす操作に苦労した様ですが、相手の声を聞きながら、ゆっくり丁寧に頑張っていました。

「段差が怖かった」「動かすのが大変だった」等の感想も聞かれ、普段は当たり前だと思っている移動が、車いすだと不自由な点が多い事を実感した様子でした。



ユニバーサルデザインについて、社協職員より講義を受けている4年生児童のみなさん



実際に役割を交代しながら車いすを体験

## 中学生が職場体験に訪れる

7月12日(水)13日(木)の2日間、竜北中学校の2年生2名が社会福祉協議会で職場体験を致しました。朝8時30分から職員と一緒に朝礼を行い、その後は事務作業の補助や資料作りなどを手伝っていただきました。初めは緊張している様子でしたが、慣れてくると中学生らしい笑顔も見られました。人との接し方など社会性を身につける一助となったほか、働くことの意義や職業に対する関心を深め、進路について考えるきっかけになったのではないかと思います。

社会福祉協議会では、福祉の職場体験及びインターンシップ、介護等体験などの受け入れを積極的に行っています。興味がある方は下記までご連絡下さい。

お問い合わせ先: 氷川町社会福祉協議会 竜北事業所 ☎0965-52-5075



## いきいきサロンボランティア養成講座 受講者募集

高齢者の生きがいづくり健康づくり等を目的に町内各地区で「ふれあいきいきサロン」を開催しています。地域で暮らす高齢者の方が地区の公民館等に集い、健康体操、レクリエーション、世代間交流、茶話会等を行い、地域の福祉活動として取り組んでいます。今後、より一層の内容充実を図ると共に地域のサロン活動を支援していくために、重要となるボランティア人材の発掘・育成を目的にいきいきサロンボランティア養成講座を実施します。

日 時 令和5年9月27日(水) 午前10時～午前12時

場 所 氷川町文化センター(講堂)

対 象 いきいきサロン活動に携わる方、ボランティア活動に興味がある方

受 講 料 無料

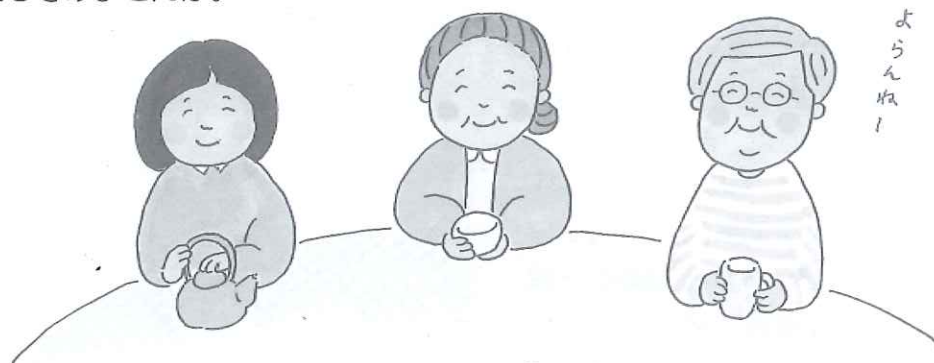
申込方法 電話、又は折り込みチラシに必要事項を記入のうえ、氷川町社会福祉協議会  
(竜北事業所・宮原事業所)のいずれかへお申込みください。

申込締切 令和5年9月15日(金)

お問い合わせ先：氷川町社会福祉協議会 竜北事業所 ☎ 0965-52-5075

## おれんじカフェ開催のお知らせ

高齢化が進み、認知症は誰もが関わる可能性のある身近な病気になりました。認知症の方やご家族、近頃物忘れが気になる方を対象に、おれんじカフェを開催しています。日頃感じている不安や悩みを話してみませんか。



おれんじカフェ

日 時 9月13日(水) 13時半～15時 ※毎月第2水曜日開催

場 所 宮原福祉センター

参 加 費 無料

参加方法 申し込み不要

そ の 他 送迎はありません

お問い合わせ先：氷川町地域包括支援センター ☎ 0965-62-3456



## 社協会費 多くの皆様のご協力に厚くお礼申し上げます

本年7月にご依頼いたしました「令和5年度氷川町社会福祉協議会会員(会費)募集」につきまして、多くの皆様のご協力を賜り心より御礼申し上げます。また、各家庭を訪問し、募集にご協力いただきました福祉推進員様をはじめ、地域の皆様方には大変お世話になりました。

皆さまの善意による会費、寄付金、共同募金配分金は、社協が行なう福祉事業の貴重な財源になります。

今後とも、社会福祉の一層の充実に向けて、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、御礼とさせていただきます。

令和5年8月15日現在の会員及び会費の内訳は下記のとおりです。

区 分	件 数	金 額(円)
一 般 会 員 (年額1,000円)	2,920世帯	2,920,000円
賛助会員/個 人 (年額2,000円以上)	54名	175,000円
賛助会員/法人等 (年額5,000円以上)	30件	175,000円
合 計		3,270,000円

## 寄附のお知らせ

音楽フェス実行委員会(代表:松岡雄一さま)より、日本赤十字社熊本県支部への寄附金をお預かりいたしました。

ご寄付ありがとうございました。

日本赤十字社熊本県支部氷川町分区分



## 善意のご紹介

次の方々から社会福祉事業に役立てて下さいと、ご寄付を頂きました。故人のご冥福をお祈りし厚くお礼申し上げます。ご寄付頂いた浄財は、本町の福祉事業に活用させていただきます。(敬称略・受付順)

氷川町社会福祉協議会/香典返し(令和5年6月22日~令和5年8月17日)

地区名	寄 付 者	故 人	地区名	寄 付 者	故 人
鹿 島	藤井 靖	藤井スミエ	町	井芹 弘子	井上サユリ
八代市	村上 恭治	森元八重子	熊本市	上野 一男	上野 京子
八代市	眞田美穂子	松田トシ子	高野道	野田芙蓉美	野田 壯
南鹿野	濱田 正澄	濱田スミエ	北 川	中川多美代	中川 好美
島 地	永田美智子	永田 久男	新 田	高瀬 博康	高瀬 直子
東網道	久保 則義	久保 初子	中大野	橋口恵美子	橋口トシエ



## ひとり暮らし高齢者交流会参加者募集

申込締切10月12日(木)

日 時 令和5年11月7日(火)  
 竜北福祉センター 午前9時30分出発/午後3時40分帰着予定  
 場 所 人吉方面(青井阿蘇神社・永国寺・白岳伝承館・人吉温泉華の荘)  
 対 象 氷川町内在住の一人暮らし高齢者(65歳以上の方)  
 昭和34年4月1日以前生まれの方  
 参加費 1,000円

※申込方法 9月中旬ごろ各地区民生委員から配布されます参加申込書を記入のうえ  
 地区民生委員又は社会福祉協議会に直接お申込みください。

お申込み・お問い合わせ先  
 氷川町社会福祉協議会  
 ☎0965-52-5075

## 令和5年度共同募金のお願い

「じぶんの町を良くするしくみ」をスローガンに今年も10月1日より赤い羽根共同募金が始まります。

町民の皆さまのご協力は地域づくりの貴重な財源となり、様々な場面で皆さまと関わり地域で行われている多様な活動の大切さを伝えています。ここ数年間は新型コロナウイルスの影響で事業によっては延期や中止を余儀なくされてきましたが、今年度は通常通り実施していきたいと思っております。皆様のご協力をお願いいたします。

集められた募金は氷川町社会福祉協議会の町内事業に使われています。

- ・福祉大会 ・ひとり暮らし高齢者交流会 ・高齢者友愛訪問 ・社協だよりの発行
- ・高齢者、寝たきり者(児)友愛訪問 ・ひとり親家庭親子交流会
- ・小、中学生のワークキャンプ(福祉体験) 等々



・小学生、中学生のワークキャンプ(認知症 VR 体験 他)



・町内保育園児の協力による  
街頭募金の様子(道の駅 竜北)

また、10月2日(月)午前10時30分頃から氷川町道の駅竜北にて、社協職員並びに協力団体の皆さまによる街頭募金が行われますので併せてご協力をお願いいたします。

赤い羽根共同募金の「つかいみち」は下記QRコードよりご確認できます。

氷川町で実施している事業の他、全国の様々な共同募金による事業を見ることができます。



赤い羽根募金のつかいみち  
 赤い羽根データベース  
**はねっと**

じぶんの町を良くするしくみ。

